

榎峠から青梅丘陵ハイキング

開催日：2024年10月12日（土） 晴れ 健脚LV1 歩数：2万1000歩 距離：約13km

集合：JR青梅線軍畑駅9時45分

コース：軍畑駅（標高255m）→榎峠登山口→雷電山（標高494m）→

辛垣城跡まで0.5Km地点（昼食）→辛垣（からかい）城跡巻道→名郷峠（標高387m）→

ノスザワ峠→三方山（標高454m）→矢倉台（標高383m）→仏塔→叢雨橋→永山公園→

青梅駅（標高190m）

参加者：市村(L) 熊坂(SL) 奥村(SL) 山田(SL) 勅使河原 河野 丹後 小田 畠 脇坂

岩元 加納 風間 大城 高津佐 亀田 飯倉 田村 佐藤し 渡部 計20名

秋晴れの三連休初日、絶好のハイキング日和です。青梅駅で乗り換えた奥多摩行き列車は、老若男女の登山者やハイカーですし詰め状態。それでも青梅線沿線にはハイキングコースが多くあり、各駅で少しずつ下車していきます。軍畑駅は、高水三山コースと青梅丘陵ハイキングコースの起点。私たちを含めて30人ほどが下車しました。青梅丘陵は、多摩川沿いに広がる青梅市の北側に高さ300~500mの小高い丘が続く、市民に親しまれているハイキングコースです。雷電山からアップダウンを繰り返して展望の良い矢倉台へ。緩やかな下り道で青梅駅へ下る健脚LV1コースです。とはいえ「アップダウンが多く健脚LV2に近いのでは」という声も聞かれました。はてさてどんなハイキングだったのでしょうか。



軍畑駅 ストレッチ コース説明 9時50分～高水山分岐直進

軍畑駅前、奥村SLのリードでストレッチ。若い人はいきなり歩いて行きますが、私たちはまず身体をほぐしてから。年配男性が、私たちに合わせて一緒にストレッチをしていたほほえましい光景もありました。6月18日に下見をしたときには駅舎反対側にカモシカの姿がありました。駅前に青梅ハイキングコースの標示板があり、市村Lがコース説明をして9時50分にスタート。少し下ってから自動車道を上って行きます。キバナコスモス、お地蔵さんの前を通り、高水山分岐へ。左高水山、私たちは直進でもう少し上ります。



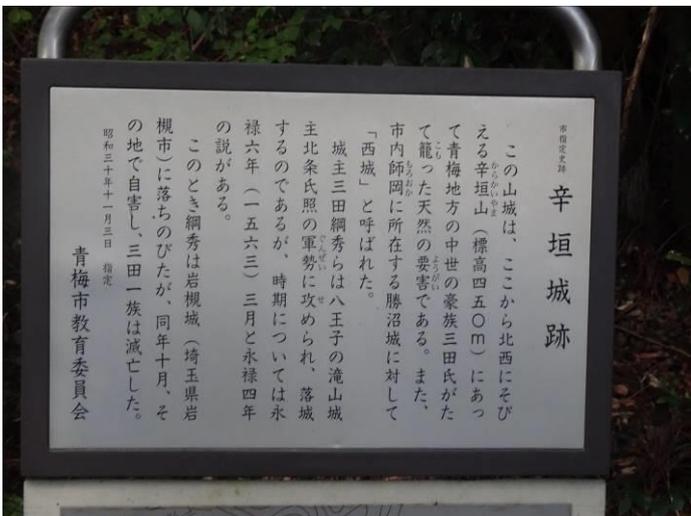
榎峠登山口 10時20分～急登～10時52分雷電山（標高494m）

進行方向左側にのみ歩道があり、道ばたに色鮮やかなクサギの花（熊坂さん撮影）や秋の気配漂わせるススキが群生していました。10時15分、榎峠登山口に到着。大分汗ばんできたので水分補給と衣類調整。登山口は歩道と反対側で狭く、車道はカーブして見通し悪く、この日一番の注意どころ。10時20分、1班がまず車道を渡って登山道を上り、続いて2班も渡り登山道へ。最初にめざす雷電山までは距離900m、いきなりの急登が続きます。かなり早いピッチで上ってしまい10時52分、この日の最高峰雷電山山頂（標高494m）に到着。続いて2班も到着。1班と2班に分かれて写真撮影をしました。



雷電山～11時14分 昼食～辛垣城跡巻道～名郷峠（標高387m）

雷電山からはアップダウンのコース、急峻な木段の下り道を慎重に足を運びます。尾根道を上り11時14分、「辛垣城跡まで0.5Km」の標識のところへ。少し早いですが、ここで昼食タイムです。木の根が這っているところを避けてシートを敷き、それぞれ場所確保。吹き上げて来る心地よい風を受けながらのご飯が美味しいです。大勢で昼食を食べていたので、反対側から上ってきた人に「ここが雷電山山頂ですか」と尋ねられる一幕も。昼食後は班分けなし、熊坂SLが先頭で11時40分にスタート。少し下って辛垣城跡巻道へ、平坦な道を進んでいくと「名郷峠（長尾峠）387米」と書かれた標識へ。だいぶ下りてきました。



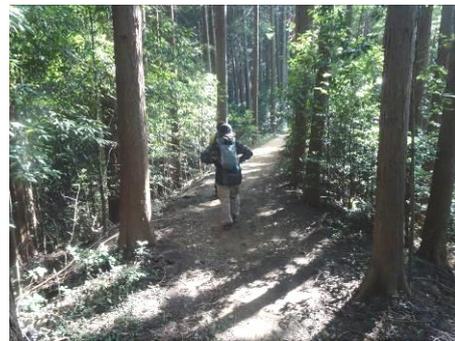
送電線鉄塔～「マスガタ山」～南側に多摩川沿いの集落～ノスザワ峠

名郷峠から少し上ると、JR古里線の送電線鉄塔が表れました。青空に送電線が東西に伸びています。少し下ると南側に多摩川沿いの集落が見えました。再び上り、小さなピークで「マスガタ山」と読み取れる手書きの標柱。地図上では尾根道沿いではなくもっと南に位置するのですが。ここからまた下り、「辛垣城跡から700m」の標識。さらに南東へ進むと杉の木に「ノスザワ峠」と巻かれた木の標識が出てきました。



ノスザワ峠～三方山（標高454m）～鷹ノ巣山～緩やかな下り尾根道

12時30分、ノスザワ峠から三方山をめざします。杉林の道を上って10数分、標高454mの三方山山頂へ到着。杉に「三方山」と手書きで書かれた標版が巻き付けられているだけで山頂は狭く、水分補給して下山開始。少し下ったところに「山火事を防ごう！災害発生時の119番通報は、下記の防災ポイント名をお知らせください」と標版がありました。災害があっては困りますが、知っておくと役に立ちます。日光男体山が見える展望の良いところに来たのですが、木々に阻まれて見えませんでした。鷹ノ巣山を通過したようで、ここからはコースは東南方向から南方向に変わって緩やかな下りの尾根道が続きます。



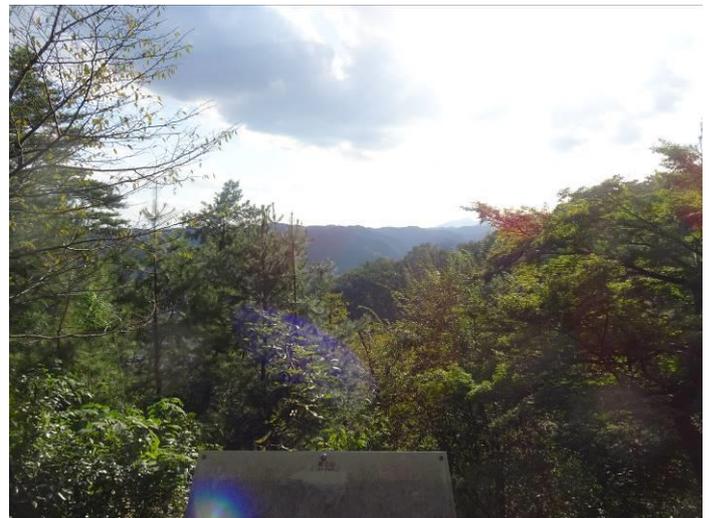
雷電山から3.8km地点～日向和田駅分岐～14時 景観の良い矢倉台へ

13時30分、雷電山から3.8km地点へ。水分補給をしてスタート、少し上りになり雷電山から4.3km地点へ。ここは日向和田駅へ下りられる分岐、小休憩をして直進。尾根道の道幅が広くなり木の根が透ってなくて歩きやすくなりました。少し進み14時丁度、矢倉台に到着。説明板に「青梅地方、かつての杣保（そまのほ）に拠点をついた豪族三田氏は、代々、東青梅の勝沼城に居住していたが、北条氏照の八王子滝山入場による、多摩地方の情勢の変化を受け永禄年間の初め頃、二俣尾の辛垣山に城を築いた。矢倉台は戦略上重要な物見の場所であった」と書かれています。景観を楽しみ、集合写真を撮影しました



矢倉台 | 4時8分～緩やかな下り道～仏塔～叢雨橋～永山公園

お菓子の差し入れなどあり矢倉台でゆったりくつろぎタイム、「最初の上りは少しハードだった」「ここからは下りのみですよ」など話も弾みます。ここからは進路が東になり14時8分、スタートです。道幅はさらに広くなり、この先ずっと緩やかな下り道です。永山公園はもうまぢか、木漏れ日の中をゆったり歩きます。仏塔が見えてきて、叢雨（むらさめ）橋を渡ります。川苔山（川乗山）、富士山の眺望の良いところに来ましたが、富士山は雲に隠れて見えません。分岐で直進せずに、永山公園の一角の野球場脇へ下ります。少年たちが大きな声を出して野球の練習をしていました。



野球場脇広場でクールダウン～15時35分青梅駅 2万1000歩 13km

野球場脇を歩きトイレとベンチのある広場でクールダウン。少し下りて、青梅線上の道路を渡り住宅街・商店街を進みます。15時35分、ゴールの青梅駅へ着きました。距離13Km、歩数2万1000歩でした。青梅市は関東山地と武蔵野台地にまたがり、中部を多摩川が東流しています。中心市街地は多摩川の谷口集落で青梅街道の宿場町（青梅宿）として発達してきました。次回の「青梅街道を歩く④」で再び訪れることができると思います。映画の街としても有名で駅構内には映画の看板が掲示されていました。



10月12日で思い起こすのが、5年前の2019年10月12日。大型で強い台風19号が、10月12日午後7時前に伊豆半島に上陸、関東を縦断して13日には三陸沖を北東に進み、東海、関東甲信越、東北では記録的な大雨となりました。箱根町では、降り始めからの総降水量が1000ミリを超える全国最多を記録しました。この日、クラブで「湯坂道を上り浅間山・鷹ノ巣山へ」を計画していましたが中止。2日後の14日に荒れた湯坂道を上り浅間山山頂への一人ハイキング、下山は大平台駅へ、早川が激流となっていました。台風19号は土砂崩れなど登山・ハイキングコースに甚大な被害をもたらし、いまだにその影響が残っています。ほろ苦い思い出のある10月12日、今回は快晴に恵まれてのハイキングでした。